



第 1351 回例会報告

平成26年2月6日(木)晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

世界理解月間

2月是世界理解月間です。今月の「ロータリーの友」には国際大会、国際親善、青少年交換、国際奉仕活動の実例など様々な記事が載っており、RI会長のメッセージとして、ロン D. パートン氏が国際大会について語っています。この中でロータリークラブの歴史を大変簡明に言い表していることが印象的でした。ポール ハリスと3人の友人が最初のロータリークラブを創立したのは、109年前の今月であり、彼の目標は、見知らぬ人ばかりの街で、同じ価値観を分かち合う人と親睦のオアシスをつくるというシンプルなものでした。その後、ロータリーの哲学は発展・成熟し、ロータリアンの理念は、奉仕、職業倫理、国際理解へと広がりました。そしてポール ハリスは、人々が友情と寛容の精神でひとつになることができれば、いかに互いの共通点が多いかすぐに理解できることができ、それが世界平和につながると感じたそうです。(まさに今の日中あるいは日韓関係の改善に必要な考え方だと思います。)そして国際大会ほどポール ハリスの考えを鮮明にするものは無いだろう。何故なら国際大会は、政治・文化・宗教などの異なる背景をもった人たちが、平和を築き、他者へ奉仕をし、そしてお互いに楽しむために地球のあらゆるところから集うという、彼が目標とした世界であるからだと述べています。

皆さんの中にもシドニーで開催される国際大

会に行ってみようかという方もおられるかもしれませんが、多くの方がこれに参加して、ポールハリスの夢を体験していただければと思います。

◇幹事報告◇

【報告事項】

- 1) 先週の理事会において2月例会が、承認されました。一部変更があります。先週の例会通知でお知らせの通りです。

■出席報告

会員数	38名
出席対象	36名
出席者数	24名
出席率	66.7%
前回修正	88.9%

■ニコニコBOX

24名	37,000円
累計	732,000円
目標額	130万円
達成率	56.35%

■今週のことば

今年もよろしくお祈りします。
藤井敏雄

高齢者運転講習に行ってきました。モジマークをつけて運転する年齢になりました。
高林一紀

ロータリー財団補助金小委員会委員長上田東RC村居様、高槻RC藤井様、お越しいただき心から歓迎申し上げます。
ニコボックスに大金をご奉仕いただき目標額に近づき喜んでおります。
御子柴文夫

■次回のプログラム

2月20日
クラブ内アンケート
クラブ会報
雑誌広報委員会



第 1351 回例会

「未来の夢計画」は、
ロータリー活動の大改革

RI2600 地区ロータリー財団
補助金小委員長 村居 正雄

担当 職業奉仕委員会

本日の例会はロータリー財団補助金小委員会委員長の上田東 RC 村居正雄様をお迎えし、ロータリーの補助金についての説明をいただきました。

また補助金の説明の後で、上田東 RC のマレーシアでの植林の国際奉仕の卓話をいただきました。



2017年にロータリー財団は100周年を迎えます。その100周年を迎えるにあたって、ロータリー財団をもう一度見直し、時代のニーズに合ったものに変えていこうということで、2013-14年度スタートしたのが「未来の夢計画」です。

ネーミングが奇抜で、取っ付きにくいイメージがありますが、意図は明確です。これまでロータリー財団はプログラム数が多く、複雑でわかりにくく、必ずしも基金が有効に使われてきたとはいえません。また私達の寄付したお金がどこで、どのように使われているのか明確でないところもありました。ロータリークラブはいわば景気よく寄付する団体で終わっていました。

今回の改革で、

1. 地区に配分される補助金が大幅に増えることになりました。2600地区では、2012-13年

度約200万円だった地区補助金が、2013-14年度は、約600万円となり、2014-15年度は640万円と予測されています。

2. 補助金の配分について、大幅に地区の裁量に任せられることになりました。

3. 地区補助金の計画立案、申請、そして地区としての審査・承認作業は全て前年度に行なうことになりました

4. 財団への寄付金を目で見える形で活用することは、ロータリーメンバーがロータリアンとしての誇りを自覚することとなります。

「未来の夢計画」によってロータリー財団は、私たちのための財団になります。これまでのように単にプログラムを消化することが目的のロータリー財団ではなく、ロータリアンのための財団に生まれ変わるということです。それは裏を返せば、各クラブのロータリアン自らが創造し、かつ自らが活動するものになるということでもあります。一方で、補助金を申請したクラブは、補助金の効果的な活用について責任をもつこととなります。支援する相手への補助金の丸投げは認められないということです。

きあ、ロータリー財団補助金を活用して、より充実したプロジェクトを考え、計画し、具体化しましょう。クラブの皆がロータリーライフを楽しむために！！

地区補助金に関する資料をいただきました。紙面の都合でホームページに記載しました。